

建築を学ぶ学生・大学院生、若手実務家の皆さんへ

## シンポジウムのご案内

日本建築学会 グローバル時代を生きぬくことができる建築人の育成特別委員会

あらゆる情報が駆け巡るグローバル時代は、価値観・評価軸の統一化にいやおうなく向き合わなければならない時代でもあります。労働人口が減少する日本社会において特に若い世代の内向き志向が顕著になるなか、グローバル化の加速に対応し、世界に伍して活躍できる建築人の育成は、わが国の建築界にとっても焦眉の課題となっています。

日本建築学会では「グローバル時代を生きぬくことができる建築人の育成特別委員会」を立ち上げて、わが国建築の学・産のグローバル化に向けた動きや現状・実情、そして問題点を把握するとともに、グローバル化時代を生きぬけるに人材育成のための仕掛けを考えています。

グローバル時代を生きぬける人材、グローバル化に対応できる人材をどう捉え、どのような人材の輩出を目標にすべきか？を特別委員会では議論してきました。

輩出すべき人材は、単に外国語に堪能で海外の事情に明るいただけではないでしょう。わが国のあり様・文化を十分に理解しながら、国内外の事情に通じ、異文化適応力をあわせ持ち、自国の立場および技術をアピールできる人材、さらに加えれば海外の業界人と上手に交流のできる人材、と認識しています。

わが国の建築業はいまグローバル時代を認識してグローバル化に向けて大きく舵を切りつつあります。海外事業の増強を図るためにもそれに応えられる人材を欲しています。しかし、このような建築業の実情は学生の皆さんに「正しく」伝わってはいないようです。

そこで、標記のシンポジウム開催を企画しました。本シンポジウムでは、これから社会に巣立とうとしている学生・大学院生の皆さん、若手実務家の皆さんに、わが国建築のグローバル化がどのような状況なのか、建築業がグローバル化にどう対応しているか（あるいは対応しようとしているか）、また将来どの方向へ向かおうとしているのか、を伝えたいと考えています。同時に、グローバル化時代を生きぬくことの意義・醍醐味・必要性を議論することで、将来の建築を担う方々（皆さんです!）の目を世界に向けさせたい、と強く願っています。

グローバル時代を生きぬくことができる建築人の育成特別委員会  
委員長 西谷 章

シンポジウム  
「海外事業を推進する建築業界に求められるグローバル人材像」

<プログラム>

1. 特別委員会委員長・趣旨説明  
西谷 章(早稲田大学理工学術院教授) 14:00～14:10
  
2. 総合建設業の現状・戦略・将来展望
  - (1) 海外工事を経験して見えてくるもの  
鹿島建設 日比 純一 14:10～14:30
  - (2) 設計のグローバル化に関する後輩への進言  
清水建設 黒田 和彦 14:30～14:50
  - (3) グローバル化に対する設計部門の取り組み  
大林組 佐竹 浩 14:50～15:10
  - (4) 海外プロジェクト設計の醍醐味  
大成建設 服部 光宏 15:10～15:30
  - (5) 海外大型工事の設計施工  
竹中工務店 山口 広嗣 15:30～15:50

\* \* \* \* \* 休憩 \* \* \* \* \*
  
3. 質疑応答・Discussion 16:00～16:55
  
4. まとめ 16:55～17:00  
中島 正愛(日本建築学会会長)

<日 時> 2016年12月3日(土) 14:00～17:00

<会 場> 常翔学園大阪センター 301会議室  
大阪市北区梅田3-4-5 毎日インテシオ 3F  
TEL 06-6346-6367

<http://www.josho.ac.jp/facility/osakacenter.html>

JR大阪駅より徒歩約10分

<申込方法> 下記Webサイトよりお申し込みください

<https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=1621>

申込締切 2016年11月30日(水)

<定 員> 165名(申込先着順)

<対 象> 建築学を学ぶ学生・大学院生の皆様、建築実務に従事されている皆様

<参加費> 無料 ※会員資格を問わず参加可

<問合先> 一般社団法人日本建築学会 事務局

担当 内野 [uchino@aij.or.jp](mailto:uchino@aij.or.jp)